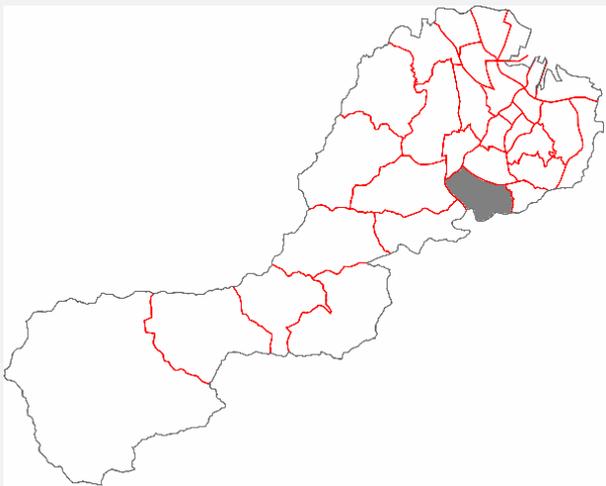


16 阪内川・櫛田川中流丘陵地地域

1 地域の現況と課題

1. 地域の概要

地域の現況		位置図																																																																																												
<ul style="list-style-type: none"> ・ 櫛田川沿いの集落地のほか、近畿自動車道伊勢線以東でまとまった山地が形成されている地域である。 ・ 地域の大半は山林・原野・農地等で占められ、住宅を中心とする主な集落地は、国道166号、(県)御麻生菌豊原線沿道等に小規模に分散して立地している。 ・ 自然環境に恵まれた丘陵地には、本居宣長の墓所やちとせの森が配置されており、野外レクリエーションの拠点ともなっている。 																																																																																														
基礎データ		土地利用現況																																																																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">都市計画区域</th> <th rowspan="2">都市計画 区域外</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>市街化区域</th> <th>調整区域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域面積 (ha)</td> <td>—</td> <td>981.8</td> <td>415.5</td> <td>1,397.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">人口</td> <td>H.12</td> <td>—</td> <td>160</td> <td>1,922</td> </tr> <tr> <td>H.17</td> <td>—</td> <td>154</td> <td>1,903</td> </tr> <tr> <td>H.17/H.7</td> <td>—</td> <td>0.963</td> <td>0.993</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.990</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">世帯数</td> <td>H.12</td> <td>—</td> <td>43</td> <td>543</td> </tr> <tr> <td>H.17</td> <td>—</td> <td>48</td> <td>590</td> </tr> <tr> <td>H.17/H.7</td> <td>—</td> <td>1,116</td> <td>1,084</td> </tr> <tr> <td>人口密度 (人/h)</td> <td>—</td> <td>0.2</td> <td>4.2</td> <td>1.4</td> </tr> </tbody> </table>		都市計画区域		都市計画 区域外	合計	市街化区域	調整区域	地域面積 (ha)	—	981.8	415.5	1,397.3	人口	H.12	—	160	1,922	H.17	—	154	1,903	H.17/H.7	—	0.963	0.993				0.990	世帯数	H.12	—	43	543	H.17	—	48	590	H.17/H.7	—	1,116	1,084	人口密度 (人/h)	—	0.2	4.2	1.4	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">種別</th> <th>面積 (ha)</th> <th>構成比 (%)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">宅地</td> <td>住宅</td> <td>33.0</td> <td>3.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>商業</td> <td>1.8</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工業</td> <td>4.6</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>39.4</td> <td>4.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">非宅地</td> <td>農地</td> <td>226.8</td> <td>23.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>山林・原野</td> <td>596.3</td> <td>60.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>119.4</td> <td>12.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>942.5</td> <td>96.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>981.8</td> <td>100.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		種別		面積 (ha)	構成比 (%)	備考	宅地	住宅	33.0	3.4		商業	1.8	0.2		工業	4.6	0.5		小計	39.4	4.0		非宅地	農地	226.8	23.1		山林・原野	596.3	60.7		その他	119.4	12.2		小計	942.5	96.0		合計		981.8	100.0	
	都市計画区域		都市計画 区域外	合計																																																																																										
	市街化区域	調整区域																																																																																												
地域面積 (ha)	—	981.8	415.5	1,397.3																																																																																										
人口	H.12	—	160	1,922																																																																																										
	H.17	—	154	1,903																																																																																										
	H.17/H.7	—	0.963	0.993																																																																																										
				0.990																																																																																										
世帯数	H.12	—	43	543																																																																																										
	H.17	—	48	590																																																																																										
	H.17/H.7	—	1,116	1,084																																																																																										
人口密度 (人/h)	—	0.2	4.2	1.4																																																																																										
種別		面積 (ha)	構成比 (%)	備考																																																																																										
宅地	住宅	33.0	3.4																																																																																											
	商業	1.8	0.2																																																																																											
	工業	4.6	0.5																																																																																											
	小計	39.4	4.0																																																																																											
非宅地	農地	226.8	23.1																																																																																											
	山林・原野	596.3	60.7																																																																																											
	その他	119.4	12.2																																																																																											
	小計	942.5	96.0																																																																																											
合計		981.8	100.0																																																																																											

地区別会議における主な意見

- ・ 通学路となる阿波曾区間など(県)御麻生菌豊原線の歩道整備、冠水対策が必要。
- ・ (県)御麻生菌豊原線旧道などを含めた御麻生菌町などの集落地における消防車等が通れる骨格的な生活道路の拡幅整備が必要。
- ・ 庄町、阿波曾町などにおける豪雨時の排水対策が必要。

2. 地域の課題

(1) 土地利用の課題

- ✓ 阿波曾町、庄町、御麻生藺町、桂瀬町、笹川町、大河内町などのまとまった農地は、農地として保全する必要がある。
- ✓ 阿波曾町、庄町を中心とする丘陵地一帯は、豊かな自然環境に恵まれており、現形態の維持・保全を図る必要がある。特に、櫛田川流域の丘陵地は、水質保全等の観点から保全を図る必要がある。

(2) 交通体系の課題

- ✓ 地域内交通のアクセスの利便性の向上並びに周辺地域との連携強化のために、都市幹線道路として機能している国道166号及び（県）御麻生藺豊原線の機能更新を図る必要がある。
- ✓ 櫛田川周辺の農村集落地の利便性の向上のため、多気町と中心市街地方向を結ぶ広域農道の整備促進を図る必要がある。

(3) 公園・緑地及び自然的環境の課題

- ✓ 阿波曾町、庄町を中心とする丘陵地一帯は、森林の持つ多面的機能を充分発揮させるため、森林資源の保全を図る必要がある。
- ✓ 豊かな自然環境に恵まれた櫛田川の河川空間は、身近な緑地として保全・整備する必要がある。

(4) 河川・海岸、下水道の課題

- ✓ 阿波曾町、庄町、御麻生藺町、桂瀬町、笹川町、大河内町などの農村集落地は、水質確保の観点から、公共下水道や農業集落排水施設の整備に努める必要がある。

(5) 集落地整備の課題

- ✓ 小規模な集落地が分散して立地している地域であり、それぞれの集落地に応じた保全が必要である。

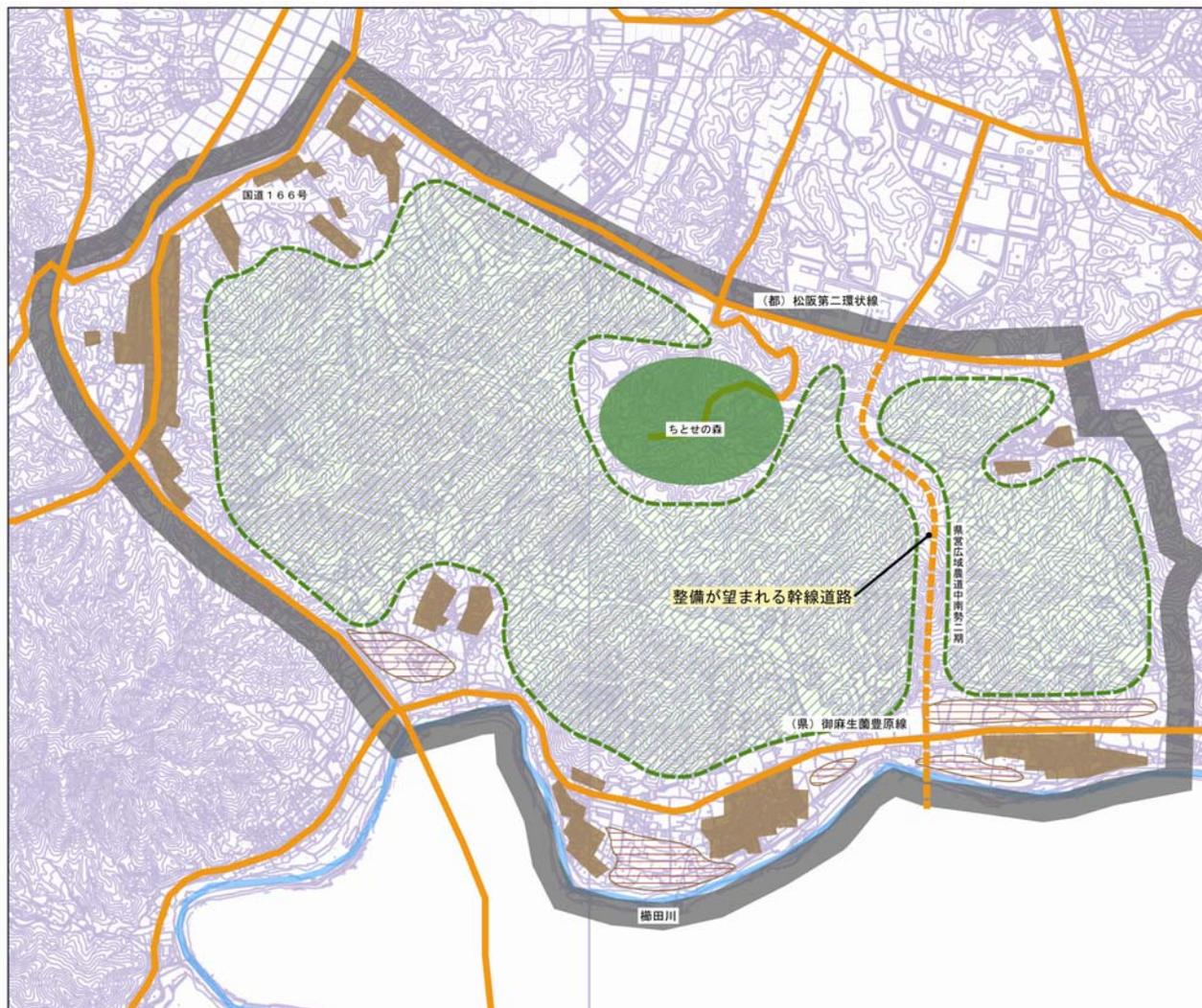
(6) 安全・安心のまちづくりの課題

- ✓ 御麻生藺本郷など集落地では緊急車両の進入等に考慮した骨格的な生活道路の整備が必要である。
- ✓ 阿波曾などでは浸水被害が発生しており、浸水対策が求められている。
- ✓ 通学路や幹線道路等の歩道の設置が求められている。

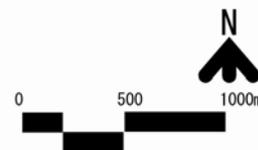
(7) 景観形成の課題

- ✓ 櫛田川の景観保全が必要である。

● 阪内川・櫛田川中流丘陵地地域 地域別整備課題図



-  集落地としての生活環境を高める必要性が高い地区
-  優良農地として整備・保全する必要性が高い地区
-  森林として保全する必要性が高い地区
-  主な道路
-  主な公園・レクリエーション施設
-  主な河川・水面
-  地区区分界



2 地域別構想

1. まちづくりの目標と主要な柱

阪内川、櫛田川の周辺に形成された集落環境の保全を図るとともに、自然環境や里山景観としての森林と農地の保全を図り、既存の野外レクリエーション拠点と自然を活かした里づくりをめざす。

○まちづくりの主要な柱

集落環境の保全

森林の保全

2. まちづくりの基本方針

(1) 土地利用の方針

- 御麻生藪町、庄町、阿波曾町、上蛸路町、桂瀬町、笹川町、大河内町などは引き続き「集落環境保全地区」を配置する。
 - ✓ 分散して立地する小規模な集落地それぞれに応じた集落環境の維持増進に努める。
- 阿波曾町、庄町、御麻生藪町などのまとまった農地には「農地等保全地区」を配置する。
 - ✓ 「農地等保全地区」は、農地として保全する。
- 阿波曾町、庄町から大河内町、笹川町までの丘陵地一帯には、「森林保全地区」を配置する。
 - ✓ 「森林保全地区」は、櫛田川の水質保全の観点も含めて、豊かな自然環境の維持・保全を図る。

(2) 都市施設及び地区施設等の整備方針

- ✓ 地域内の交通利便性の向上、周辺地域との連携強化のために、幹線道路である国道166号及び（県）御麻生藪豊原線の維持・更新を促進する。
- ✓ 櫛田川周辺の農村集落地の利便性の向上のため、多気町と中心市街地方向を結ぶ広域農道の整備促進を図る。
- ✓ 御麻生藪本郷など緊急車両の進入が困難な集落地では、骨格的な生活道路の整備に努める。
- ✓ 通学路や幹線道路等の歩道の整備促進に努める。
- ✓ 豊かな自然環境に恵まれた櫛田川の河川空間は、身近な緑地として保全・整備を促進する。

- ✓ 阿波曾町などで浸水被害が発生している櫛田川周辺の地域については治水対策の促進に努める。
- ✓ 阿波曾町、庄町、御麻生藺町、桂瀬町、笹川町、大河内町などの農村集落地は、水質保全の観点から公共下水道事業や農業集落排水事業の推進に努める。

(3) 地域環境の保全に関する方針

- ✓ 阿波曾町、庄町から大河内町、笹川町までの丘陵地一帯は、森林の持つ多面的機能を充分発揮させるために森林資源の保全を図る。
- ✓ 櫛田川の景観保全に努める。

● 阪内川・櫛田川中流丘陵地地域 整備構想図



記号	凡 例	記号	土 地 利 用
	広域幹線道路		低層住宅地
	幹線道路		中低層住宅地
	補助幹線道路		一般住宅地
	主な生活道路		住商複合地
	鉄道・駅		近隣商業地
	主な公園・レクリエーション地区		商業地
	主要公共施設等		商工複合地
	主な河川・水面		住工複合地
	市街化区域界		工業地
	地区区分界		集落環境保全地区
			農地等保全地区
			森林保全地区

